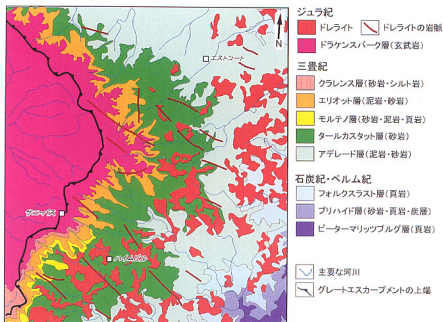


## 南アフリカ共和国ドラケンスバーグの地形

< 菊谷 愛彦 >

龍の山という意味のオランダ語に名前の由来があるドラケンスバーグは標高3,000mに達する広大な高原地帯と、それを断つ比高1,000m以上の急崖(グレート・エスカープメント)に特徴づけられる。南アフリカ共和国に囲まれた

レト王国の領上の大部分を占める高原地帯はジュラ紀の厚い玄武岩層からなる。この高原地帯に発達する第四紀末期の地形や堆積物を巡る見学旅行が国際第四紀連合(INQUA)第15回大会にあわせて企画された。



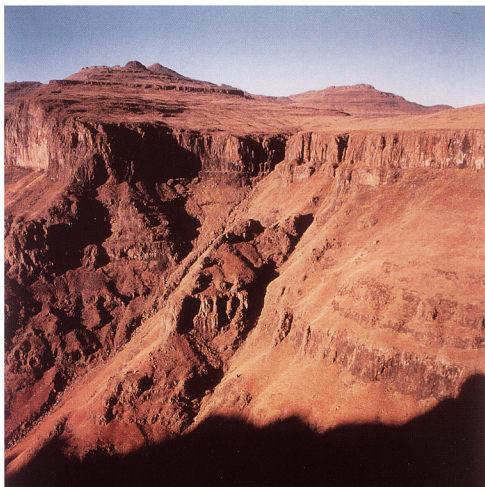
1. ドラケンスバーグとその周辺の地質 (Council for Geoscience of South Africa, 1997を簡略化)。グレート・エスカープメントの上端は南アフリカ共和国とレト王国の国境線にほぼ一致する。本図の範囲は本文第1図(p.8)に示した。



2. サニ・バス付近のグレート・エスカープメント上端から東方を望む。第三紀の初め以降に形成された古い侵食平坦面であるアフリカ面とポスト・アフリカ面を俯瞰する。



3. サニ・パスの国境検問所付近。サニ族の石壁と葎葎き屋根の住居が散在する。他に数件の商店があるのみで閑散としているが、週末にはハイムビルから観光客がおおぜい足をのばす。



4. 朝日を浴びるサニ・パス付近のグレート・エスカープメントを崖の上端からみおろす。